

墨田区議会

Liberal Democratic Party

2013
January

自由民主党だより

ご意見・ご要望をお待ちしております。

発行／墨田区議会自由民主党（墨田区吾妻橋1-23-20） 発行責任者／田中 邦友 <http://www.city.sumida.lg.jp/>

謹 賀 新 年

本年もよろしくお願ひ致します

A Happy New Year 2013

墨田区議会
自由民主党

たきざわ良仁

西原 文隆

坂下 おさむ

出羽 邦夫

田中くにとも

沖山 仁

林 つねお

樋口 敏郎

山本 とおる

福田 はるみ

中沢 えみり

加藤 拓

佐藤 あつし

幹事長あいさつ
墨田区議会自由民主党幹事長
田中 邦友

新春を寿ぎ、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。また、新成人となられます皆様に心からお祝い申し上げます。昨年暮れの総選挙では、自由民主党の政権復帰を叶えて戴きました。今後、国政と連携して、景気回復と公約の実現に全力を尽くして参ります。

さて、本年は、昨年開業した東京スカイツリーの効果を区民の皆様実感して戴けるための回遊性の向上等、本格的な取り組みが強く求められています。「国際観光都市すみだ」へ向けて様々な施策をスピード感を持って着実に推進しなければなりません。又、大震災の教訓を最大限に生かすべく、更なる防災対策の充実や、地域防災計画の見直しを行ない、安心・安全なすみだへ繋げる取り組みも極めて重要です。

平成25年の日本経済は予断を許さない状況にあり、本区の財政運営も厳しい舵取りが余儀なくされています。

こうした中で、私共は、会派全員が一致団結して区政が抱える諸課題に全力で取り組んでまいります。そして、区議会第一党としての責務を果たし、区民の皆様の期待と信頼に応えていく所存です。本年も変わらぬご支援、御協力の程、切にお願い申し上げます。

議長あいさつ
墨田区議会議長
出羽 邦夫

区民の皆様には、健やかに新春を迎えられたこととお喜び申し上げますとともに、今年、新成人になられた皆様に心からお祝い申し上げます。

昨年は、東京スカイツリーが開業したことにより、想定を上回る多くの人が本区を訪れたほか、区内の店舗などがマスコミで紹介される機会も増え、区の知名度も高まったかと思えます。一方、その経済効果があまねく区内に広がるまでに至っていないなど、幾多の問題も指摘されています。

また、昨年末には、ダブル選挙が行われました。日本の経済・外交施策に大きな期待が寄せられています。区民に身近な自治体として地域経済の活性化を図り、安全・安心なまちを実現することが求められます。

現在、区議会では議会改革の検討を進めているところですが、区民の皆様の声をしっかり受け止め、最大党派である自由民主党は、夢と希望の抱ける墨田区となるため全力で取り組んでまいります。

本年が皆様にとって、より良い年となりますよう心からご祈念申し上げます。

代表質問

11月27日の本会議で、会派を代表して中沢えみり議員が代表質問を行いました。平成25年度予算編成、区政全般のあり方、今後の課題について深く区長、教育長に質問しました。



中沢 えみり 議員

1、平成25年度予算編成について

(問)今年度は前年に続き、歳出面では生活保護費や医療費を初めとする社会保障給付が大幅に増加していることに加え、本区の基幹的歳入である、特別区民税や特別区財政調整交付金は昨年度と比較し、大幅な増収が見込めない状況が続いている。現状を踏まえ、来年度の予算編成はいかにされるのか。

(答)基本計画事業の着実な推進を行う。特にリーディングプロジェクトと位置付けている、東日本大震災の教訓を活かした防災施策の推進、東京スカイツリー効果を区内全体で享受するための国際観光都市づくり施策の推進、さらには住み慣れた地域で安心して暮らせる福祉施策の充実に取り組む一方、強固な財政基盤を構築するため、さらなる行財政改革を推進していきたいと考えている。

(問)今まで以上に、優先すべき事業の見極めや整理、統合を行い、さらに区民の生活が豊かになるよう努力が求められている。来年に向けては、しっかりと無駄を省き、短期的、長期的の両方の側面も考慮しつつ、財政の健全化にむけてどのように財政運営をされるのか。

(答)これまでも行財政改革実施計画をもとに区民行政評価結果なども踏まえ事務事業の見直しを行ってきた。引き続き公共施設のあり方の見直しや職員定数の適正化など

を行い、さらなる行政コストの削減と区民サービスの向上に努めていく。平成27年度までに経常収支比率85%、公債費比率7%未満の目標を達成できるよう、全力を挙げて取り組んでいきたいと考えている。

2、防災対策について

(問)昨年の東日本大震災から1年8ヶ月。東京都防災計画の修正が11月14日に正式発表された。墨田区の地域防災計画の見直しはいつ頃を目安に正式発表となるのか。

(答)東京都との調整、防災会議への諮問を経て、年度末に修正したものを公表している。本年4月に東京都が公表した「首都直下地震等による東京の被害想定」を踏まえつつ、防災関係機関からの意見を集約し素案を作成中。例年どおり、年度末に公表するべく準備を進めている。

(問)区民向け「災害時医療救護ガイド」の作成を提案する。

(答)負傷者が一部の医療機関に殺到してしまうような混乱を回避するため、災害時の医療救護体制について区民に周知しておくことは大変重要なことである。災害時の医療救護体制がどうあるべきかについて、すみだ医師会等の関係機関と協議を進めている。「災害時医療救護ガイド」の作成については、この見直しと併せて対応させていただきたい。

3、観光対策について

(問)今年度、国際観光都市への推進費として2億1500万円が予算付けされた。現在の進捗状況や手応えを含め、現状をどう認識されているのか。また今後どのように対策を講じていかれるのか。

(答)まだまだ十分とは言えないが、本区が国際観光都市への着実な一歩を踏み出せているのではないかと認

識している。開業後半年の現在、効果が目に見えて現れてくるためには、今しばらくの時間を要するものと考えているが、今後とも観光協会と連携しながら、引き続き情報発信をはじめとした回遊促進のための取り組みを強化し、積極的な事業展開を図っていききたい。

(問)現在バス停の未設置箇所がある。ぜひとも早期設置を実現していただきたい。

(答)未設置バス停6か所の実現に向けてさまざまな調整、検討を進めているところであり、諸条件が整った場所から、今年度内を目途に対応していききたいと考えている。

4、すみだ北斎美術館について

(問)これまでも様々な議論がなされ、2年の延期がされた。来年平成25年度、施設設置条例の制定及び、建築着工という予定と聞いている。しかし、施設建築費や毎年の管理運営費について、赤字の見通しだけが先行して示されるなど、行政側の見通しや、描いている将来像がまだ分かりにくい。区民の理解を得るための説明がまだまだ不十分であると認識している。

(答)建設に対しての区民に対する説明責任が不十分であるとのこと指摘であるが、先の第3回定例会の所管委員会で、施設建設概要や管理運営費についてご報告を申し上げ、その後、区のお知らせやケーブルテレビ、すみだまつり、さらにはコミュニティ懇談会で区民の皆さんへのPRに鋭意努めているところである。今後もしさまざまな機会を捉え、理解を得られるよう努力していきたい。

(問)世界的評価の高い画人葛飾北斎、同じく世界で活躍する現代の建築家、妹島和世氏、という国際的に有名な2人のコラボレーションであ

るすみだ北斎美術館。いかに国内外にこのことをPRし、来館に結び付けていくのが大事。

また、墨田北斎のイメージ定着についても、庁舎1Fホールに北斎の画を展示、職員のネームタグに北斎の画を入れる等、地道ながら一貫した取り組みが必要であると考えてる。

(答)建築設計者の妹島和世氏は、世界で活躍され注目を集めている建築家。様々な賞を受賞されている。個性あふれる建築を見るために多くの方々が来館されることを期待している。施設建設を進めて行く中で、北斎の偉業等と併せて、美術館の建物についても積極的にPRしたいと考えている。

来庁された方などに対する北斎の露出を多くすることによって、区を挙げて葛飾北斎を顕彰し、北斎美術館の建設に取り組む姿勢を示すことは、とても有効な方法であると受け止めさせていただいた。年明けから国内外に向けて情報発信を行う。

5、大学誘致について

(問)昨年の採択(さいたく)する法人は該当なしとの答申を受け、区長は大学誘致を見送った。改めて、大学誘致の目的はなにか。

(答)一言で申し上げるなら、「知の拠点による区の活性化」である。

(問)区長の考える主たる効果はなにか。

(答)大学施設の地域開放や公開講座の実施、生涯学習やスポーツを通じた交流などによる「地域の活性化」、児童・生徒との交流や、幼・小・中の教員と大学教員との共同研究等による「教育力の向上」、学生や大学関係者の地域居住や消費活動、大学の専門知識・技術の活用や人材育成による「経済・産業の活性化」、防災協定の締結や、政策立案等による「行政との連携強化」、さらに大学のあるまちすみだ、区民にとつての誇りや愛着の創出による「地域イメージの向上」などの効果を期待しているところである。

(問)交渉の前提として区としてどのような契約条件が有利なのか考えをまとめるべき。

(答)学校跡地という区民の皆さんの貴重な財産であるので、契約条件についても関係者の意見を十分参考にして決定していきたい。

(問)本区と早稲田大学の包括的事業連携協定の関係について、大学を有しない本区において、同協定は一定の役割を果たしてきた。その総括と更新の見通し、及び大学誘致後の協定のあり方について何う。

(答)事業連携協定を締結し10年。産業振興分野では、大学との共同特許の取得、新製品開発などの多くの成果がある。文化振興、まちづくり、人材育成等の分野においても、大学の知識、ノウハウ、学生の力を活用することにより、すみだの地域や文化のPR、商店街や地域の活性化に寄与してきた。このような成果も踏まえ、早稲田大学側も継続を望んでいることから、これを更新し、引き続き連携を進めていく。

6、墨田区の幼児教育と子育て支援について

(問)我が区の今年度の待機児童数は4月時点で105名。来年度は定期利用保育、保育ママの増員等の施策を展開し、目標としている約50名の待機児童を限りなくゼロに近づける取り組みを強く期待する。

(答)今年度は、墨田みどり保育園の改築による定員拡大などによって、約80人の定員増加が見込まれる。来年度、南部地区に100人規模の私立認可保育園の開設が計画されている。待機児童50人以下を目指して鋭意取り組んでいるところである。定期利用保育や保育ママ、グループ型小規模保育室などを拡充し、待機児童解消に向け努力していく所存である。

(問)今後さらに少子化の深刻化が予測される。これまで区の予算を投じて設置された施設で、今後定員割れする施設の出現や、各支援策の利用者の減少などが想定される。今後

の見通しと対策についてどう考えているのか。「子ども子育て関連3法」において、新たな「幼保連携型認定こども園」の具体的制度設計について法案が成立したが、墨田区として今後どのように具体化していくのか。また、課題となっている行政の主管課はどこになるのか。

(答)今後、国から順次示されることとなっている。具体的には、来年度設置予定の「子ども・子育て会議」などで検討しその後策定する「子ども・子育て支援事業計画」の中でその具体化を図っていききたい。

子ども施策の所管については、子ども・子育て関連3法の趣旨に基づく施策を最も効果的に展開できる組織のあり方を速やかにとりまとめ、平成26年度には新たな体制としてスタートさせたいと考えている。

7、オリンピック・パラリンピックの東京招致について

(問)今までの啓発イベントの成果と課題、及び、これからの事業内容を具体的に問う。

(答)これまでのPR活動は、オリンピックやパラリンピックに出場した選手の方々を招き、講演や報告会、トークショーを行って、区民の方々に招致の意義を訴えたり、PR用フラッグを掲出し、まちの招致ムードを盛り上げてきた。このような取組みにより、少なからず区民の皆さんの機運は盛り上がりつつきているのではない。今後は、区内商店街の協力を得て、歳末の売り出し時期に合わせ、オリンピック東京招致エンブレム入りの本区オリジナルのエコバッグを配布するほか、12月22日も「なでしこジャパン」の女子サッカー選手を招き、サッカー教室を行い、スポーツへの関心を高めていく予定である。引き続きあらゆる機会を捉えて区民の皆さんにオリンピック等の東京招致にご賛同いただけるよう、訴えていきたいと考えている。

決算特別委員会が開かれました！

決算特別委員会

平成24年9月28日～11月7日

平成23年度決算（一般会計・国民健康保険特別会計・介護保険特別会計・後期高齢者医療特別会計）を審査する決算特別委員会が、福田はるみ委員長の下、9月28日から11月7日の日程で開会されました。審査された決算は、いずれも認定としましたが、区長に対し、各施策について改善すべき点を強く指摘しました。これらの点は平成25年度予算において十分反映されるよう注視して参ります。

自民党意見開陳の要旨

（樋口敏郎委員が表明）

1. 区財政について

4会計の歳入における収入未済額（区が予定した収入金額のうち、出納閉鎖日の5月末日までに収納されなかった金額）は55億円、不能欠損額（収入未済額のうち将来にわたり納入される見込みのないもの）は10・2億円であり、負担の公平性の観点から早急な債権管理の一元化を図るべきである。

2. 防災対策について

東日本大震災後、一定の地域防災計画の見直しがされたが、その後東京都より発表された被害想定等を踏まえ、本区の災害に弱い地域特性や、不燃化特区に指定されたことを重く受け止め、耐震化をはじめとする、防災対策を力強く推進されたい。

3. 国際観光都市すみだの実現について

東京スカイツリー開業による近隣商店への影響や京成本社跡地活用について大いに憂慮している。区長はこの事態を深刻に受け止め、強い姿勢で臨みたい。

国際観光都市すみだを目指すにあたり、その道のりはまだまだほど遠い。観光振興プランや商業活性化プログラムを着実に推進し、一日でも早く地域で活性化の足音が感じられる取組みを望みたい。

すみだ北斎美術館については、区負担の低減と、より多くの来場者が見込めるよう、管理運営方針のさらなる工夫を求める。



区内循環バスにおいては未設置のバス停の解消を早急に努め、観光客を取り込み、利用率100パーセントを目指されたい。

4. 子育て支援について

子育て支援について、保育園の待機児童は来年度、約50名と予測しているが、認証保育所および墨田みどり保育園の改修、グループ型保育室等の定員増により待機児童ゼロを目指すよう強く求める。

5. 高齢者施策について

高齢者施策については、在宅介護の充実等、高齢者が安心していきいきと暮らしていけるよう更なる充実を要望する。施設介護にあつては、特別養護老人ホームの待機者が900名を超える現状にあることを重く受け止め、第6次介護事業計画の前倒しを視野に入れ、旧木下川小学校跡地活用を含めた施設拡充への取組みを進めるべきである。

6. 障がい者施策について

障がい者就労支援総合センターが3月に開設され、着実に成果が上がっている。引き続きの努力を望むとともに、更なる障がい者施策の充実を期待する。

7. 生活保護施策について

生活保護については、不正受給対策を行うとともに、被保護者については自立に向けた就労支援を強力に行うべきである。

8. 教育施策について

来年度の幼小中一貫教育の全区展開に向けて準備が進められている。教育委員会と子育て支援のしっかりとした連携をもとに新たなシステムが力強く進められるよう努められたい。

また、学力向上では学習状況調査の経年的な検証を行うとともに、各児童・生徒の個人学習プロフィールの活用を十分活かし、学力向上に着実にむすびつけられたい。

昨今の社会問題となつていいるいじめ・不登校については、認知ゼロに向けて、教育委員会と現場の教職員が一丸となり早期の発見と適切な対応を行うべきである。そうした中でわが会派は「いじめ防止条例」の検討を提案する。

従来から教育委員会は、隠ぺい的な体質があると言われてきた。今後は開かれた教育委員会として、区民から信頼され期待されるよう生まれ変わることを強く要望する。今後とも、教育委員会の動向を注視していく。

予算要望

平成25年度予算編成にあたり、墨田区議会自由民主党は、区長に対し以下の重点要望をはじめとする、各分野の要望を提出致しました。

区長にはこれらを十分斟酌の上、予算編成にあたられることを強く望むものです。

重点要望

1. 防災対策の充実・強化（放射線対策を含む）
2. 行財政改革のさらなる推進
3. 財源の確保
 - ・区民税、国民健康保険料や使用料等の徴収努力・収納率向上
 - ・受益者負担の適正化
 - ・都区財政調整における確実な財源確保
 - ・新たな財源の確保
4. 公共施設白書の具体化
5. 東武伊勢崎線2号踏切立体化の早期事業化
6. 「国際観光都市すみだ」実現への整備推進
7. 「やさしいまちすみだ」として総合的な高齢者・障がい者対策の充実
8. 子育て支援施策の強化（待機児童の解消）
9. 大学誘致の実現
10. すみだ総合保健センターの整備促進
11. 統合学校跡地の計画的利用
12. 中小企業への支援強化
13. 東京スカイツリー社からの新たな貢献策の検討
14. 「環境の共創」及び再資源化の推進



あけましておめでとうございます!

Happy New Year 2013!



年賀状など時候の挨拶状は、公職選挙法により
禁止されておりますので、本紙上をもって
新年のご挨拶とさせていただきます

すみだ自民党

議員紹介

墨田区議会自由民主党の所属議員です。
新しい時代のすみだ
づくりに全力投球し
ます。

☎ 3622-9570 押上1-25-5  西原 文隆 活力ある墨田づくりを 今年も大変厳しい年が予測さ れます。しかし、このような時期 こそ前向きに全力で頑張るこ とが大切ではないでしょうか。	☎ 3611-4003 墨田5-33-4  瀧澤 良仁 区民生活が第一 子育て支援・障害者・高齢者等、区 民福祉を拡充し、区民が安心して暮 らしていける、活気ある環境創りを 区民主体の目線で進めてまいります。	☎ 3625-1810 向島3-18-10  坂下 修 子育て支援・高齢者対策に全力を いま、緊急の課題となっている 子育て支援、高齢者対策に全力 を尽くし、層の行政改革に取り 組んでまいります。
☎ 3616-7014 八広1-39-17  田中 邦友 夢と希望の持てる墨田区を！ 観光振興プランの着実な推進 を図り、区民との協働を前提に 「区民が主役の区政」をめざし て取り組んでまいります。	☎ 3616-5834 八広4-11-19  出羽 邦夫 風雪磨人 風や雪が人を磨き育てあげると の意味ですが、この厳しい時代、逃 げる事なく、あきらめることなく、 しつかり修業としてがんばります。	☎ 3616-1050 京島1-39-1-918  沖山 仁 積極的な、行動を！ お願いより、まずは感謝のここ ろで初詣。
☎ 3617-4129 八広3-6-3  樋口 敏郎 善行に感謝 昨年、大事な財布を落とし交番 へ行った処、名前も告げず届けて くれた方がいました。感謝を忘れ ず、全力を尽くします。	☎ 3631-1934 江東橋1-8-7  林 恒雄 快適な街すみだの実現 協治ガバナンスの有意義な運用を し、安心安全な街づくりに努め、 基本計画の実行実現に努めてい きます。皆様の幸せにつなげたい	☎ 3622-0010 向島5-42-3  山本 亨 「すみだ」をさらに素敵な街に！ ①スカイツリー効果を区民が実 感できる年に②住んで良かった と思える街に③墨田区議会の改 革にも全力で取り組みます。
☎ 080-5008-9930 堤通1-5-9  中沢 えみり 豊かな教育環境すみだに向けて！ 社会の宝子ども達のために教育 環境や芸術文化の充実を目指し、 国際都市すみだ構築に向け今年 も元気に邁進いたします！	☎ 3625-8139 業平4-5-16  福田 はるみ スマイルすみだ 区民の皆様が安心安全に、そし て笑顔でいられる墨田区を目指 してまいります。今年もどうぞ よろしく願いたします。	☎ 050-1334-9640 緑1-12-13-301  加藤 拓 墨田区前進の一年に！ 皆様のご意見をいただきながら、 産業振興、防災まちづくりに取 り組み、安心して暮らせる墨田区 を目指し、全力で働いて参ります。
墨田区議会自由民主党 http://jimin-sumida.jp/ お気軽にご意見を お寄せください。	☎ 090-8567-8293 京島3-18-4  佐藤 篤 結果で応える政治を 昨年議会提案した危険家屋対策 条例の素案を作っています。今年 はこの条例を区議会で可決すべ く全力を尽くします。	